

離島・僻地病院実習

令和3年度

実習生：福嶋 大将

実習先：長崎県上五島病院 指導医：山川 大介先生

実習期間：令和3年10月4日 ～ 令和3年10月29日

【実習内容の概要】：

今回、私は離島・僻地医療の実習として新上五島町の長崎県上五島病院に1ヶ月間の実習をさせていただきました。新上五島町は長崎県の西方、五島列島の北部に位置し、中通島と若松島を主体とする7つの有人島と60の無人島から構成されており、長崎港から直線で約77kmの距離にあります。人口は現在約2万人、65歳以上の高齢化率は37.70%と全国平均の26.60%と比較してかなり高い状況にあります。上五島病院は、その上五島町の中通島のほぼ中央に位置しており、上五島町で唯一の有床診療所です。その為、一次から二次救急医療、健康診断などの保健予防活動、高齢者医療まで担っています。一般病床は120床で、標榜科は、内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、神経内科、腎臓内科、外科、整形外科、脳神経外科、精神科、小児科、産婦人科、泌尿器科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科の計18科と多数ありますが眼科、耳鼻咽喉科、神経内科等が常勤の医師はおらず週に数日応援の医師がきて外来を行っていました。本題である実習は、指導医の山川医師の所属する内科班に所属し、外来と病棟実習を行いました。外来では、上五島病院かかりつけ患者の定期外来や新患外来、また急患対応の見学をさせていただきました。

また病棟では、外来で入院させた患者さんや、呼吸器疾患、消化器疾患、癌患者が入院されており、実際に指導医の先生と化学療法中の癌患者の受け持ちをさせていただき、離島・僻地における癌診療の実態を経験をさせていただきました。また、専門的な処置である内視鏡検査、US、腹水ろ過濃縮再静注法や胸水穿刺、骨髄穿刺、気管支鏡検査などを見学・実習をさせていただき、我々歯科医師が普段の診療で体験できない処置に直接触れることができたのは、とても良い機会になりました。実習の合間には、入院中で食欲不振や義歯による疼痛を訴える患者さんの口腔内の診察を行ったり、退院前の患者さんのオーラルフレイル予防の為に、口腔内の診察やアドバイスをさせていただいたりもしました。中には、10年以上歯科受診していない無歯顎患者がいらっしゃり、離島僻地住民のデンタルIQの向上が必要であると実感しました。また、以前訪れた五島市の福江島と比較し、新上五島町の島々は地形が複雑で、屈曲した海岸線が多い上に平坦地に乏しく、物理的に人口が分散していました。その为上五島病院から各地域への診療所に交代で出向き、一次医療と予防医療に取り組むことで、地域医療を支えている印象を受けました。



指導医の往診に同行させていただきました。往診に併せて口腔内の診察をさせていただきました。ご家族に対して義歯の直脱方法、洗浄方法の指導を行いました。



実習でお世話になった先生方に送別会を開いていただきました。先生方はとても教育熱心で優しい先生方で毎日楽しい実習でした。

【今後の予定：臨床・研究等】

1 ヶ月間通常の診療から離れ、離島実習ができたのは、診療科の同期及び上級医の協力があったからこそです。

今回の実習で得たことを日々の診療で生かしながら、これからも頑張っていこうと思います。

実習報告会の様子

